

令和4年第1回  
総務文教常任委員会

# 所管事務調査報告

期 日:令和4年1月25日(火)  
10:00~11:30

調査内容:令和4年度所管事務調査

(1)国見小学校のタブレット等 ICT 活用による授業  
及び学校施設の視察について

出席者:総務文教常任委員6名、傍聴議員1名  
説明者:学校教育課長、係員、国見小学校長、教頭

# 国見町議会

ページ

八島博正委員長……………	3
浅野富男委員……………	4
松浦常雄委員……………	6
山崎健吉委員……………	8
穴戸武志委員……………	9
蒲倉孝委員……………	10

# 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月31日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

## 【内容】

- 1) 小学校における ICT 機器の導入状況と使用状況(現場の視察について)
- 2) 小学校の各種整備事業について

以上、2点について学校教育課長より説明を受ける。

授業視察については、

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| (イ) 5年1組の外国語 | } それぞれタブレット端末機を使用している<br>授業を視察 |
| (ロ) 2年生の体育   |                                |

## 【感想】

- ・5年生の外国語の授業では、子どもたちが上手にタブレットを使っているのが理解できた。  
小学生から話す英語に取り組んでいるのが理解できた。
- ・2年生の体育では、縄跳びの実技をタブレットを使って2人1組で授業に取り入れていて感心した。
- ・小学校 GIGA スクール事業や環境改善事業、感染拡大防止、災害復旧事業について説明があり、対策が進んでいると思った。

以上

# 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

## 【調査内容】

前回の県北中学校の視察に続いて小学校のICTを活用した授業の視察である。始めに教育委員会より、GIGAスクール構想を実施するためにはこれまでの機器は利用できないので、新たな設備を整備することが必要であることの説明があった。GIGAスクール実施までには中学校と同様に機器の整備が必要であり、校内無線LAN、iPad端末機、学級支援ソフト等々、実用までに36,980千円と2年越しの事業となっている。

学校施設の整備については、トイレの洋式化、エアコン、また網戸の設置や水道蛇口をレバー式に交換するなど新型コロナウイルス対策も行われた。

この後は校長先生、教頭先生、教育次長などの方々と改修された箇所などを見ながら公開授業に臨んだ。また、特別支援学級の説明もあり、4教室で20名ほどの児童が支援を受けており、支援員は教員免許のある方々が当たっているとのことである。

この日の公開授業として、5年1組の外国語の授業の様子を見ることになった。ここでは外国語による意思疎通、すなわち実際の会話を通して外国語を身に着けるといった手法の授業であった。外国語をどのように教えるかではなく、「どのように学んでもらうか」と言った教育方針が根底にあるのではないかと考えたところである。

続いての公開授業は、2学年の体育の授業風景である。場所は当然体育館。小学校2年生とはいえタブレット端末の使い方は慣れたものとの印象である。ここでは縄跳びが課題となっていたが、その様子を二人一組の相手に撮影してもらい、後で飛び方についてより上達を目指してそれぞれが確かめるものと思う。また撮影技術も同時に学ぶことにもなるので現代の教育について時代の変遷を実感することになった。

## 【感想】

デジタルは社会の発展には必要不可欠なものとなっていくことは容易に想像できることではあるが、小学生という低年齢の時期から画面タッチで種々の情報がすばやく表示されることについて、使っている本人はどのような受け止め方なのだろうか

思う。このような状況は社会の「普通」であるということで判断は終わりとするならば物事の本質に迫っていないことになるのではないかと思う。アナログ的にも判断できる知見も必要ではないかとも思う。

人々は喜怒哀楽とともに暮らしている。このことによって人が生活していくための集団が作られて来たのが、これまでの人類史であるものと思っている。デジタルは社会の物資、感情を共有するための手段として使うべきものと判断できる能力も養ってほしいと思う。

以 上

# 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月28日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町副議長 松浦常雄

## 1 授業視察の内容

### ① 公開授業 5年1組「英語」2階イングリッシュルーム(3校時)

「Like」を使って、相手のすきなことを尋ねる会話の練習。タブレット端末には、食べ物など相手に聞きたいことを端末機に絵で示し質問しやすい。児童は端末機の操作を理解し、よく活用している。主体的に、多くの会話を交わすことができ、学習効果が上がると思う。

### ② 公開授業 2学年「体育」縄跳びの練習 場所:体育館

教師が映像を使って、練習の仕方を説明した後、児童は2人1組になって相手の練習の様子を動画に撮り合い自分の練習の改善点を見つけ、次の練習に生かしていた。児童が端末機を自由に使いこなしていることはすばらしいと感じた。

## 2 GIGAスクール事業関係(教育次長の説明)

- 校内LAN配線整備(令和2年12月完了 事業費8,637千円。補助1/2)  
LAN配線、無線アクセスポイント19台更新、体育館配線、端末機保管庫導入
- 国見町ICT活用環境整備業務(令和2年度公立学校情報機器整備事業)  
iPad端末機340台導入、管理用端末機、学級支援ソフト等の導入  
令和3年6月完了 事業費19,117千円(補助役50%,特別交付金)
- 国見町ICT活用環境整備学習ソフトウェア導入業務  
学習ソフトの導入 令和3年6月完了 事業費8,027千円(特別交付金)
- 大型提示装置の導入 \*現在導入中  
提示装置7台導入 事業費1,199千円(学校保健特別対策事業費補助金)

## 3 教育環境整備事業関係(主な事業)(羽根教育次長)

### (1) 7学校施設環境改善事業

- ① 特別教室等空調設備エアコン(5教室)(平成30年度冷房設備対応臨時特別交付金事業) 事業費25,078千円 普通教室には、平成24年度に配備
- ② トイレ洋式化改修工事 和式トイレ13箇所を洋式へ変更。4カ所は和式すべて洋式 令和2年12月完了 事業費11,629千円(補助1/3)

- ③ 自動火災報知設備改修工事 令和3年10月完了 事業費8,558千円  
(補助1/3)
- (2)新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業
  - ① 国見小学校網戸設置工事(令和2年度学校施設環境改善交付金事業)  
事業費2,196千円 91カ所に網戸を設置
  - ② 国見小学校水道蛇口レバー式交換事業 事業費655千円  
小学校86カ所に設置している水道蛇口を手回し式からレバー式に交換。
  - ③ 国見小学校普通教室換気扇取り付け工事(学校保健特別対策事業費補助金)  
事業費2,574千円 普通教室16教室に換気扇を新設
- (3)災害復旧事業
  - ① 福島県沖地震における国見小学校外構災害復旧工事  
事業費3,498千円 南門擁壁、木立の撤去
  - ② 福島県沖地震災害復旧事業国見小学校災害復旧工事  
事業費3,300千円 校舎・体育館壁面の亀裂、天井のズレ  
(復旧事業費2,574千円 補助3,369千円 残災害復旧費)

#### 4 調査の結果

(1)GIGAスクール事業による、小学校におけるICT機器の導入状況、教育現場での活用状況について

- ①ICT機器を活用した英語の授業。児童が端末機を操作し、英会話の学習をしていた。端末機に尋ねたいことを絵で示し楽しそうに会話をしていた。  
相手を変えて効率的に練習ができていた。  
児童が端末機の操作を理解し、活用できていることがわかった。

②GIGAスクール事業については、かなり努力を傾けて推進してきたことがうかがわれた。

今後は、新型コロナウイルスなどの感染症の拡大により、学校での学習ができない場合、オンラインで端末機を使って、児童が自宅で授業を受けられるところまで整備を進めてほしい。

(2)教育環境整備事業について

- ①特別教室への空調設備(エアコン)、トイレの洋式化、新型コロナウイルス対策としての水道蛇口レバー交換、地震による校舎の災害復旧事業への取り組みなど多岐にわたり施設の整備改善に務め、児童の安全、適切な学習、生活環境作りに務めていることがうかがわれた。

以上

# 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月26日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 山崎健吉

## 【内容】

○ICT(情報通信技術)機器の導入状況による教育ビジョン構想

「目指す子供の姿」の4項目について、校長先生から説明があった。

1、子どもたちが必要な情報の収集・判断・表現・処理・創造を発信・伝達できる能力等の情報活用能力の育成。

2、ICTの効果的な活用を通じて学習意欲の向上と学力の定着。

3、家庭におけるオンラインによる学習を見据え家庭学習の充実。

4、校務の情報化の推進により生徒指導、保険管理等、教職員の負担軽減。

以上の4項目を具体的に取るための施策11項目を定め取り組んでいる。

10時30分から教室・体育館での授業を視察

○公開授業「外国語」2階イングリッシュルームを視察

5年生が個別にタブレットを操作し、相手と英語による会話を行っての授業で、指導は外国人教員による実践的な授業だった。

○公開授業「体育」体育館

2年生による体育授業で、タブレットで相手の縄跳びを撮影し、跳び方の姿勢や角度等を交互に意見し、跳び方の形を互いに検証する授業だった。

## 【感想】

私の年代の授業は文法優先で、先生が黒板に書いたのを写したり、読み書きが主流だったが、iPadによる小学5年生の「外国語」は実践的で、会話力重視の授業で、児童もiPadの扱いは慣れているように見えた。2年生の「体育」での授業もiPadの扱いは慣れているようであった。今後は、高学年からiPadを家庭に持ち帰りオンラインによる学習もできるように進めていくとのことである。ITCの活用方法を知ることができ、大変有意義であった。また今後は家庭での理解も重要と考える。

以上

## 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月28日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 穴戸武志

### 【内容】

1. GIGA スクール元年～新時代の学びを支える先端技術活用。GIGA スクール構想の下で整備された一人1台端末の積極的な利活用。
2. 当町小学校でもタブレット端末が一人1台配置された。
3. 学校施設は昔から比べると隔世の感がある。環境、申し分ない。

### 【感想】

○グランドデザインが明確に示されている。目標がはっきりしている。ICT教育で成功しているところはグランドデザインを必ず作成している。グランドデザインは先生・生徒・父兄・町民の方々が共有できれば尚、最高である。グランドデザインがなければ、海図ない航海と一緒にある。

○生徒たちは、ゲーム・スマホ・パソコン等で端末操作は慣れている。よって国見町ICT教育ビジョン基本構想、具体的な施策の③ICT活用向上研修→校内研修を計画的に位置づけ教員の活用力を育成する。⑧ICT支援員の配置→効果的効率的な活用のための支援員を配置する。→支援員のいかに有効活用するかにかかる。この二つが重要である。生徒たちは、端末操作はいとも簡単に行う。我々の世代と違い苦手意識がない。授業ではいかに活用方法を教えるかにかかっている。小学生世代は素直に何でも受け入れる。今後も、情報化社会は良いか、悪いかは別として、進んでいくであろう。AIも然り。ICT教育は避けて通れない。ここで、しっかり教育する必要があると考える。

以上

# 令和4年第1回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年1月31日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 蒲倉孝

【調査場所】 国見町立国見小学校

【生徒数】 294名

1年生-36名/2年生-43名/3年生-50名

6年生-59名/なかよし・ふれあい-20名

【調査目的】

- ① GIGAスクール構想による、小学校におけるICT(情報通信技術)機器の導入状況、教育現場での活用状況の視察。
- ② 学校施設等の視察。  
(新型コロナウイルス対策や災害復旧等も含め教育環境向上事業)

【授業視察】

- ① 公開授業 5年1組「外国語」2階イングリッシュルーム
- ② 公開授業 2学年「体育」

【施設視察】

- ① 空調設備エアコン設置の確認  
… 特別教室5教室設置(普通教室は平成24年度配備)
- ② トイレ洋式化改修工事の確認  
… 和式トイレ13個洋式へ変更。4カ所は教育目的で和式。
- ③ 網戸設置工事の確認(91カ所に設置)
- ④ 水道蛇口のレバー式交換工事の確認(86カ所)
- ⑤ 換気扇取付工事の確認(39カ所)

【議員質問】

- ① ネット環境のセキュリティは?  
⇒ 4年生～6年生用はフィルターソフト導入済み  
1年生～3年生はこれから導入予定  
校内は、フィルターが入る環境

【所感】

- ・ タブレットを活用した授業は、コミュニケーション教育にも繋がり、体育の授業では縄跳びの動画を交互に撮影し良い点・悪い点を確認し合っていた。
- ・ 校内の各所に「英語」の表記があり、外国語教育の強化が覗えた。
- ・ トイレの洋式化はとても良いと思うが、1年生や2年生の小さな子どもが使用するには便座が大きく、アダプターの設置などが必要と感じた。

以 上